Service Now統合の準備と前提条件

OnCommand Insight

NetApp
April 01, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/oncommand-insight/howto/downloading-the-servicenow-connector.html on April 01, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Service Now統合の準備と前提条件 1
推奨されるワークフロー 1
一般的な前提条件： 1
ServiceNowの前提条件： 1
Insightの前提条件： 1
Pythonミドルウェアコネクタの前提条件： 2
ServiceNow Pythonコネクタをダウンロードしています 2

Service Now統合の準備と前提条件

ServiceNow、Insight、およびPythonミドルウェアコネクタを統合する前に、必要な準備と前提条件を満たしている必要があります。

推奨されるワークフロー

ServiceNowとInsightを統合する際に強く推奨されるワークフローは次のとおりです。

1. 最初にPythonミドルウェアコネクタを開発インスタンスにデプロイします。
2. 開発インスタンスですべての障害が特定されて修正されたことを確認したら、テスト/ステージインスタンスにコネクタをデプロイします。
3. ステージングインスタンスで正しい動作を確認したら、本番インスタンスにコネクタをデプロイします。

これらのいずれかの段階で問題が見つかった場合は、ロールバック手順に従ってコネクタを無効にしてから、問題をトラブルシューティングして再導入してください。

一般的な前提条件：

- Pythonミドルウェアコネクタは、スタンドアロンホストまたはVM（推奨）、またはInsight Serverのホスト/ VMを使用してホストできます。
- 本番用Insight Serverをバックアップし、開発用インスタンスに導入することを強く推奨します。
- ServiceNowがCMDB内のサーバを正確に検出している必要があります。
- Insightでストレージ環境とコンピューティング環境を正確に検出する必要があります。
- ポート443および80をInsight ServerおよびServiceNowインスタンスに接続します。

ServiceNowの前提条件：

- 開発/テスト用のインスタンスを使用することを強く推奨します。
- ServiceNowアップデートセットをロードする権限。
- ユーザを作成する権限。
- ServiceNowバージョンジャカルタ以降

Insightの前提条件：

- 開発/テスト用のインスタンスを使用することを強く推奨します。
- ユーザを作成する権限（Admin権限）。
- Insightバージョン7.3.1以降がサポートされていますが、Insightを最大限に活用するために最新バージョンを使用してください。

Pythonミドルウェアコネクタの前提条件：

- Pythonバージョン3.6以降がインストールされています。
- Pythonをインストールするときは、チェックボックスをオンにしてすべてのユーザーを有効にします。これにより、標準的なアプリケーションのインストール場所にPythonが設定されます。
- Pythonをインストールするときは、このチェックボックスをオンにして、インストーラがパスを更新できるようにします。それ以外の場合は、パスを手動で更新する必要があります。
- Python * pysnow および requests *ライブラリをダウンロードします。

ServiceNow Pythonコネクタをダウンロードしています

ServiceNow統合用のPythonコネクタをダウンロードし、任意の場所に展開する必要があります。

手順

1. から* ServiceNow Integration Connector *をダウンロードします "NetApp Storefront"。
2. などのフォルダに.zipファイルを展開します `c:\OCI2SNOW`。

   統合コネクタスクリプトの名前はです `oci_snow_sync.pyz`。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。